

# 週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 5 年 3 月 28 日



## 豊中ロータリークラブ

第 2969 例会

第 2564 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

2022~23 年度  
国際ロータリー会長  
ジェニファー E. ジョーンズ  
(Windsor-Roseland RC)

Rotary



2022.7~2023.6

会 長 都井正剛  
副 会 長 武枝敏之  
幹 事 岩本洋子  
雑誌・広報・会報委員長  
澤木政光

本日 ( 3 月 28 日 ) のプログラム

「子ども食堂支援について」

豊中市社会福祉協議会  
勝部麗子様

社会奉仕委員長：真下 節

次週 ( 4 月 4 日 ) のプログラム

「卓話原稿を考える」

卓話担当：畑田耕一

### ☆会長の時間☆

「3月新旧合同理事会」

2022-23 年度 会長 都井正剛

木村先生から退会の申し出がありました。なお木村先生、北村先生お二人に名誉会員になってもらうことを理事会で決定しお二人の了承が得られました。クリスマス家族会会計報告がありました。当クラブが世話をする新しい米山奨学生が決まりました。中国出身で大坂大学の阿 吉賽罕 (アジサイハン) さんです。カウンセラーは船橋さんの予定です。2月末締め切り会計表と次年度組織表の案が示されました。前年度の子供食堂への地区補助金を使つての支援は、現在最終報告書を提出済みです。地区からの最終報告待ちの状態ですが、このまま何も不備がなければ終結となります。次年度の補助金を使つての支援は奨学生への奨学金支援を申請しております。次回理事会で新しいホームページを会社に説明してもらうことになりました。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内  
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011  
例 会 日 時：毎週火曜日 12 時 30 分より  
事 務 局：10 時~16 時(土日祝を除く)  
H P ア ド レ ス：www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/  
メー ル ア ド レ ス：[jtrc2660@sun-inet.or.jp](mailto:jtrc2660@sun-inet.or.jp)

## 例会出席報告☆

	第2968回	第2965回
例会日	3月14日	2月21日
① 会員数	35	34
(内出席免除者)	8	8
② 出席義務者数	27	26
③ 出席義務者出席数	17	16
④ 出席免除者出席数	3	5
⑤ メイクアップ数		1
⑥ 出席義務者欠席数	10	10
出席率 %	66.67%	70.97%

出席率 (2968回) ③+④/②+④ 出席率 (2965回) ③+④+⑤/②+④

## 幹事報告

- ・守ロイブニングロータリークラブより  
「春のライラセミナーのご案内」が届きました。
- ・国際ロータリー第2660地区より  
「2660地区関西米山学友会【再会 in 関東】登録開始のお知らせ」が届きました。
- ・〈公財〉米山記念奨学会より  
「岩本会員に米山功労者第四回マルチプルの表彰状」が届きました。

## 掲示板

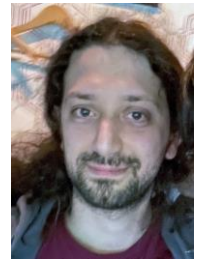
- ・地区研修・協議会  
日時：2023年4月8日（土）  
12:00 登録開始 17:00 閉会  
場所：大阪国際会議場
- ・豊中RC春の家族会  
日時：2023年4月9日（日）  
訪問先：久保惣美術館一堺市役所展望デッキー堺伝承館・堺HAMONOミュージアム  
懇親会：ANAクラウンプラザホテル大阪の中国料理“花梨”に変更
- ・中之島RC・豊中RC連携シンポジウム  
日時：2023年4月13日（木）16:00~17:30  
場所：朝日カルチャーセンター中之島教室
- ・国際奉仕フォーラム  
日時：2023年4月25日（火） 例会終了後  
場所：ホテルアイボリー 例会会場
- ・春のRYLA  
日時：2023年5月3日、4日、5日  
研修会場：大阪府立青少年海洋センター
- ・第10回定例理事会  
日時：2023年4月4日 例会終了後  
場所：ホテルアイボリー「例会会場前」  
※新旧合同理事会となります。

## ♡3月14日のニコニコ箱報告♡

- ・宮田会員、皆で楽しみました。有難うございました。  
武枝会員

## ♡豊中RC元奨学生 Emre Yesil♡

無事にフランスに戻りました。  
今まで本当にありがとうございました。  
日本語の勉強を頑張って、また日本に戻ってきます。

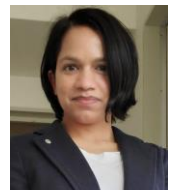


I am glad I met you here.  
See you again.

豊中RC元奨学生  
Emre Yesil

## ♡米山奨学生 バストラ・ススミタ♡

豊中RCの皆様、  
2年間大変お世話になり、本当にありがとうございました。ロータリーは自分にとって、ただ奨学金をいただくだけではなく、ここでしか聞けないことが聞け、ここでしか教えてくれないことを学ぶことができる、自分にとって大きく成長できる場所だと確信致しました。これまで私に様々な事を教えて下さった皆様に深く御礼を申し上げます。今まで本当にありがとうございました。



## お知らせ

米山奨学生のバストラ・ススミタさんは本日が最後の例会出席となりますので、1F さくらの間にて茶話会を計画しております。お時間のおありの方は、是非ご参加頂きますようお願い致します。

豊中RC 幹事 岩本洋子

「ワクチン療法の基礎：自然免疫と獲得免疫」

大阪大学大学院理学研究科 深瀬 浩一



我々の身の回りは、細菌、ウイルス、真菌、寄生虫など様々な病原体で満ち溢れており、それらから身を守るために生物は免疫を発達させた。脊椎動物は病原体の感染やワクチンの接種に対して抗体産生とリンパ球活性化により特定の病原体に対して抵抗性を獲得する。この生体防御機構は獲得免疫と呼ばれる。

一方自然免疫では、我々の身体に備わっているセンサー受容体が、様々な病原体の持つ特有の分子を感知し、炎症反応を誘導し、免疫系を活性化することで生体防御にあたる。自然免疫は細菌やウイルスに遭遇した際に、獲得免疫系が働く前に速やかに始動する。脊椎動物は、自然免疫と獲得免疫という二重の防衛システムで病原体などの異物の侵入を防いでいるのに対して、その他の生物は自然免疫によって生体防御にあたっている。

この免疫系を活性化して、感染症の予防に用いられる医薬がワクチンである。ワクチンには、獲得免疫の標的である抗原と、ワクチンの効果を高めるアジュバントと呼ばれる物質が含まれている。ワクチン開発において、副反応の制御は重要な課題であり、安全性を高めるには、精製抗原の使用と効果的かつ安全なアジュバントが必要である。ここではワクチン療法の基礎と、我々の取り組んできた安全なアジュバント開発について紹介する。

<https://www.macrophil.co.jp/special/1337/>より借用

